東京コレギウム・ムジクム合唱団主宰・常任指揮者

当間　修一

大阪音大卒。在学中よりバッハの音楽に傾倒、オルガニスト及び通奏低音奏者として研鑽を積む。
「大阪コレギウム・ムジクム」代表。主宰者・常任指揮者。1975年大阪コレギウム・ムジクムを設立。
76年室内オーケストラ「アンサンブル・シュッツ（現シンフォニア・コレギウムOSAKA）」を創設。
又、同じ頃、新しい発声法、新しい運営法、新しい合唱メソードを生み出し、翌77年「大阪コレギウム・ムジクム合唱団」を創設。以降常任指揮者として世界でも類をみない合唱団、オーケストラへと発展させ、国内外で高い評価を得ている。レパートリーはルネサンス音楽から現代音楽までとし、最新の研究に基づいた生命力溢れる演奏は５回にわたるドイツ、ヨーロッパ公演においても絶賛された（89年、93年に続く97年はケストリッツのシュッツアカデミーに、98年には中央ドイツラジオ放送の夏季音楽祭に招かれ、又2004年には再びシュッツアカデミー他からの招きにより５カ所で公演を行い、絶賛を博す）。
「ハインリッヒ・シュッツの作品の演奏」を活動の１つの柱にし、その作品を日本に紹介し続けている功績は大であると共に、合唱団・オーケストラにおける現代に生きる表出力は国内外より高い評価を得ている。
既に28枚のCDをリリース。“レコード芸術”誌のレコード・アカデミー賞に数度ノミネートされた。
「京都C.モンテヴェルディ合唱団」、女声合唱団「りんどう」、名古屋ビクトリア合唱団、「コーロ羽衣」の音楽監督。「エヴァコール」、京都外国語大学混声合唱団「ソレイユ」の技術顧問。大阪薬科大学混声合唱団、名古屋大学医学部混声合唱団の音楽アドバイザー。川西音楽鑑賞同好会の講師。NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱連盟合唱コンクール、宝塚国際室内合唱コンクールなどの審査を務めている。1998年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞、2001年ABC音楽賞「クリスタル」賞受賞。2003年関西合唱連盟より「長井賞」を受賞。

ピアニスト

山崎　真

兵庫県出身。相愛大学音楽学部ピアノ科卒業。
同大学助手勤務後、笹川日仏財団奨学生で渡仏、パリ・シャトレ座の研修生となる。
在仏中、シャトレ座、パリ日本大使館などフランス国内のリサイタルに出演。
日演連推薦新人演奏会において大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。
新国立劇場オペラ研修所講師を経て現在、昭和音楽大学非常勤講師。
東京芸術大学音楽学部別科ピアノ科在籍。

東京コレギウム・ムジクム合唱団（Tokyo Collegium Musicum Choir [TCMC] ）

（主宰者／常任指揮者　当間 修一）

コレギウム・ムジクムとは、ラテン語で音楽愛好団体という意味。純粋ハーモニーの感動、音程づくりの面白さ、音色を作る楽しさなど、合唱の喜びを体験頂きたいとの想いから、2004年より東京で開講された「当間修一合唱講座 in TOKYO」の受講生を中心として2010年4月1日に当間修一により創設される。当間修一の理想とする音楽作り、合唱団作りのもと、現在は合唱講座受講生以外のメンバーも加わり、高校生から社会人まで30人程のメンバーで活動中。ルネサンス・バロックから現代までの幅広い作品に取り組み、年に一回の定期演奏会と教会コンサートを行なう。音楽の喜び、音楽する事の楽しさを多くの方々に伝えていく事が出来れば！と、新たな「音楽の旅」への歩みを進めている。

◇-◇-◇-